

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	果樹園芸各論 [Advanced Pomology]				実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング
科目コード	710031	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	前田 隆昭				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2)	
授業概要	<p>本授業の目的は、落葉果樹および常緑果樹を対象にそれらの来歴、品種、生理生態的特性について個別に解説することにより、「果樹園芸総論」で修得した基礎知識をさらに深めることです【知識・理解の育成】。</p> <p>果樹園芸各論では、各果樹の生産場面における栽培技術的特徴や問題点を紹介することにより、応用学問としての理解をさらに深めます【知識・理解の育成】。</p>						
関連する科目	2年次前期の果樹園芸総論を受講しておくことが望ましいです						
授業の進め方と方法	<p>毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行います【知識・理解の育成】。その後、小テストについて解説した上で、授業を始めます。授業はパワーポイントを用いて行います。授業日は週間授業ではなく、後期の土曜日・日曜日に集中講義として実施します。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概説およびリンゴ〔講義のはじめに、成績評価の解説を行います〕 リンゴの来歴と現況、品種、栽培経営上の特徴、台木と繁殖、袋掛け栽培等について学びます。</li> <li>2. ナシ ナシの来歴と現況、品種、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>3. カキ カキの来歴と現況、甘ガキ品種と渋ガキ品種、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>4. ブドウ ブドウの来歴と現況、栽培経営上の特徴、生食用品種、醸造用品種等について学びます。</li> <li>5. モモ モモの来歴と現況、分類、品種、栽培経営上の特徴、生理障害等について学びます。</li> <li>6. スモモ スモモの来歴と現況、自然分類、品種、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>7. ウメ ウメの来歴と現況、自然分類、品種、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>8. オウトウ オウトウの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>9. アンズ アンズの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>10. クリ クリの来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>11. クルミ、堅果類 クルミおよび堅果類の来歴と現況、自然分類、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>12. イチジク イチジクの来歴と現況、栽培経営上の特徴等について学びます。</li> <li>13. キウイフルーツ キウイフルーツの来歴と現況、栽培経営上の特徴、品種等について学びます。</li> <li>14. ウンシュウミカン ウンシュウミカンの来歴と現況、栽培経営上の特徴、品種等について学びます。</li> <li>15. カンキツ カンキツの来歴と現況、雑柑類、オレンジ類の品種と現況等について学びます。</li> </ol>						
授業の到達目標	各果樹の由来や特徴を学習し、産業としての果樹栽培の知識を習得し、生産物である「果物」に興味を持つようになることです。【専門分野のスキルの獲得】						
授業時間外の学修	【復習】毎回、講義の最初に小テストを行いますので、前週回の講義内容について復習して下さい(1時間程度)。						
課題に対するフィードバック	小テストおよび最終試験は終了後解説します。			評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 1) 受講態度および小テスト—43点 2) 最終試験—57点		
テキスト	特にありません。						
参考書	・杉浦 明 他 編「果実の事典」 朝倉書店 ・米森 敬三 編「果樹園芸学」 朝倉書店 ・杉浦 明 編「新編 果樹園芸ハンドブック」養賢堂 ・志村 勲 他 著「果樹園芸(第2版)」 文永堂出版 ・間苧谷 徹 他 著「新編 果樹園芸学」 化学工業日報						
備考							